MAL-223E　ZJ79　2016年8月22日発行

LIXIL

クリアルーフ 連棟納まり　取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●同梱されている取扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注 意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注　意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●設置条件
・本製品は一般地域用です。積雪強度は600N/m^2（61.2kgf／m^2）であり、積雪量に換算すると20cm相当です。これを超える積雪の多い地域には取付けないでください。
・本製品は木造住宅の3階以下に取付ける設計となっております。4階以上の高所には取付けないでください。
・母屋の屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により製品が破損するおそれがあります。

●躯体への固定
・躯体枠、吊り材固定金具および連棟金具Bの固定は柱・間柱などの構造材に必ず止めてください。躯体位置が分からない場合、および躯体が強度保持できない場合は取付けないでください。
・躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合せをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
・外壁厚（通気胴縁含む）が30mmを超えるところには取付けできません。
・タッピンねじの下穴には指定より太いドリルを使用しないでください。

●部材の固定
・組立てねじ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中ゆるまないように規定の締付けトルク範囲内で締付けてください。

●取付け時の足場について
・取付け時は必ず足場を設け、転落などの危険がないようにしてください。

●パネルについて
・パネルは当社指定品をご使用ください。

●取付け上について
・みだりに改造・変更をしないでください。
・間口切詰めをして取付けないでください。
・取付け後、ボルトおよびねじ類にゆるみやガタツキがないか、点検してください。

※製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●絶縁処理
・アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

※雨漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリングについて
・シーリングは指定個所に必ず行ってください。
・外壁の上から部材を取付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。
・本製品のパネルはポリカーボネート板です。シリコンシーリングを行う場合、ポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。

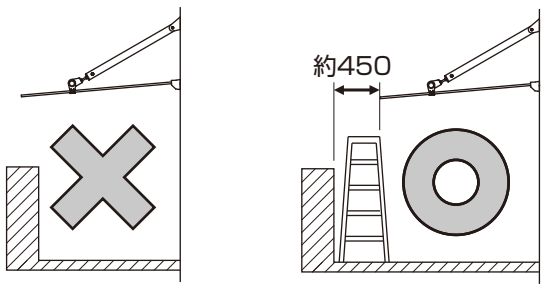
■シーリングメーカー

・信越化学工業	シーラント72
・東芝シリコーン	トスシール380
・東レシリコーン	SE960

●引渡し前のクリーニングについて
・中性洗剤以外のクリーニング剤で洗浄しないでください。パネルが割れるおそれがあります。

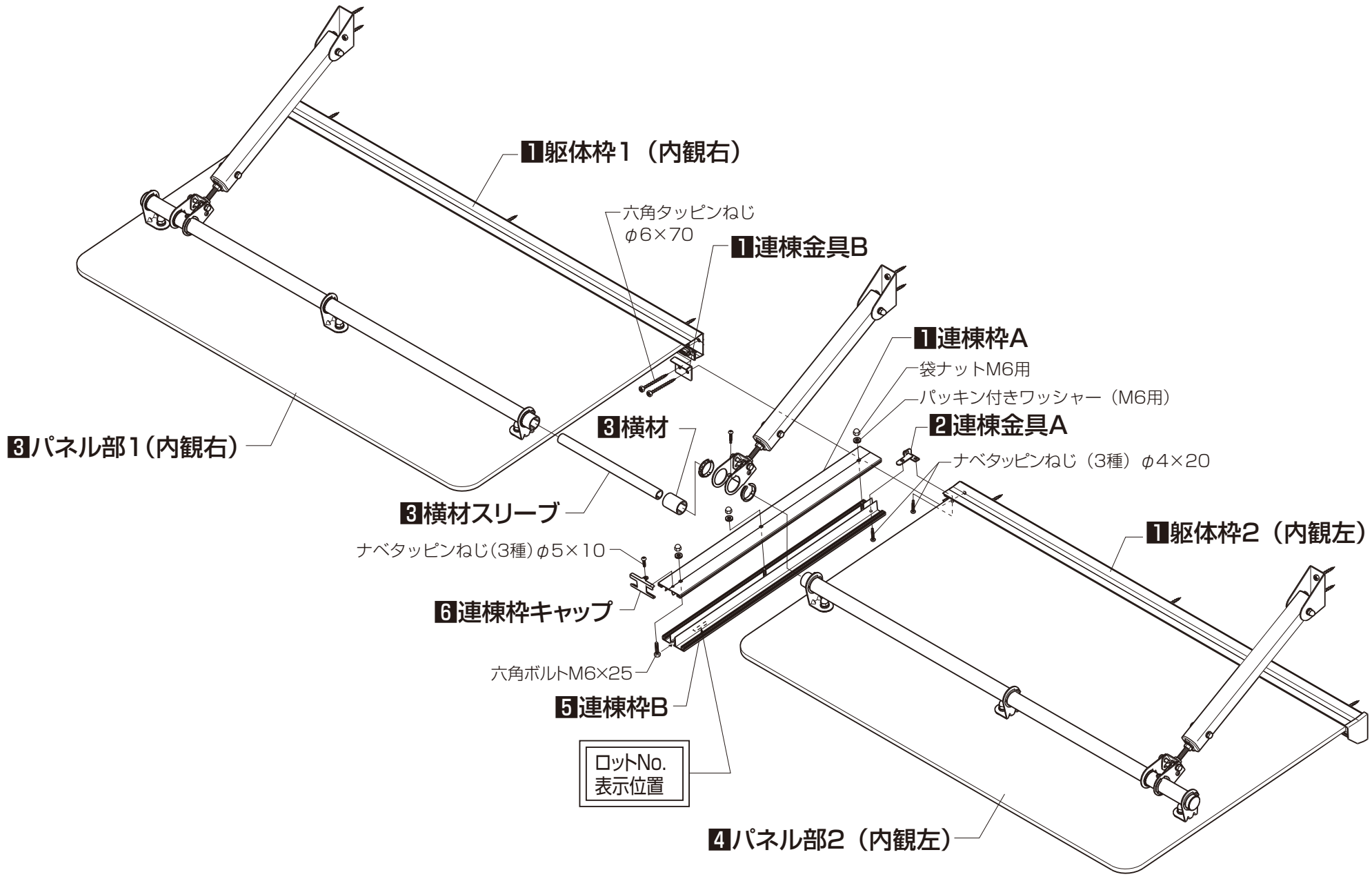
■取付け上のお願い

●水平・垂直は水準器などで正確に出してください。
●取付けは専門業者が行ってください。
●金属サイディングには取付けないでください。
●取付け作業上、脚立スペースが必要になりますので、商品出幅+脚立設置寸法（約450mm）を必ず確保してください。



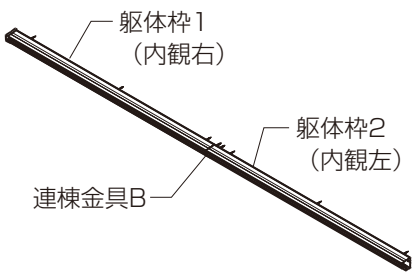
■構造説明図

※図はクリアルーフ 標準タイプ 連棟納まり 間口1010mm×2、出幅600mmを示します。



■取付け順序

1躯体枠、連棟金具Bの取付け



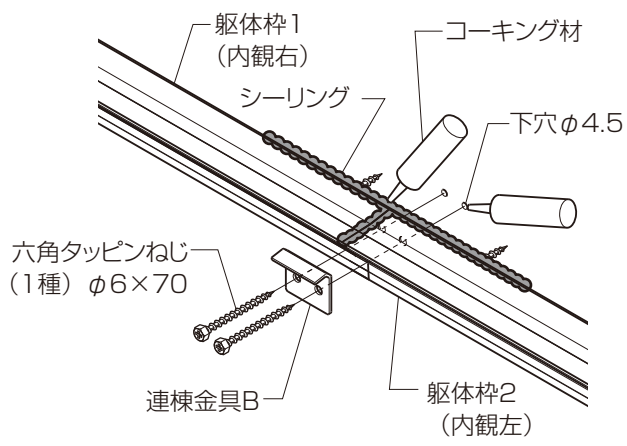
⚠注　意

●シリコンシーリングを行う場合は指定のアルコール系コーキング材を使用してください。
・信越化学工業　　シーラント72
・東芝シリコーン　トスシール380
・東レシリコーン　SE960

■取付け詳細

1躯体枠、連棟金具Bの取付け

●躯体枠に連棟金具Bの取付け穴および躯体取付け穴をあけて取付けてください。
※躯体枠加工位置は下図（関東間）を参照してください。
※連棟時の躯体枠の切詰めは不要です。

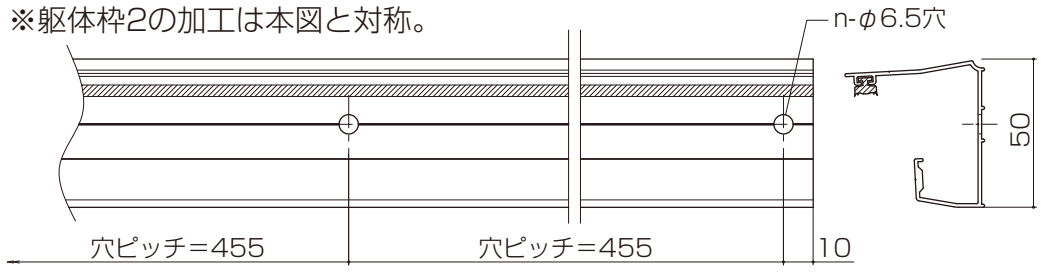


⚠注　意

●躯体枠および連棟金具Bは、必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取付けてください。
●躯体が経年劣化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合せをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
●指定の個所に必ずシーリングしてください。
●外壁厚（通気胴縁含む）が30mmを超えるところには取付けできません。

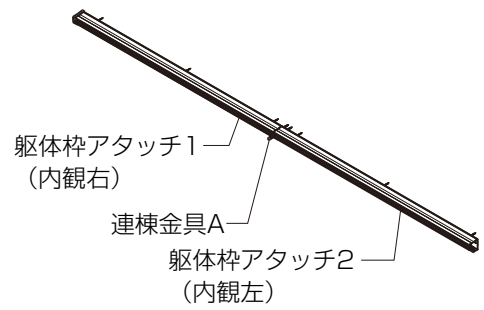
■躯体枠加工位置詳細図（躯体枠1）

※躯体枠2の加工は本図と対称。

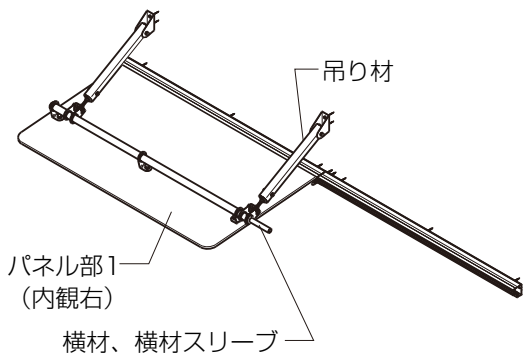


間口（mm）	穴数 n
1010	3
1465	4
1920	5

2連棟金具Aの取付け



3パネル部1（内観右）の取付け

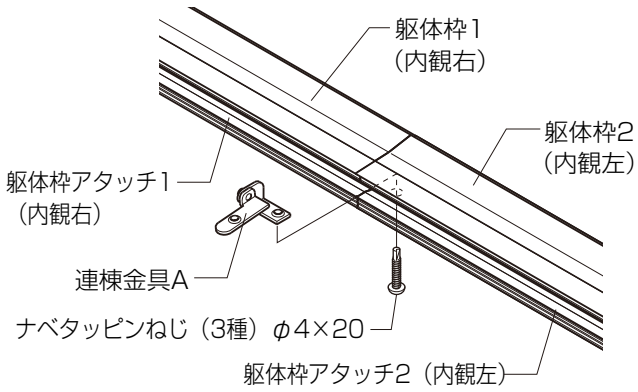


⚠注　意

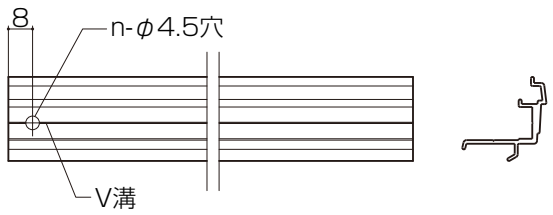
●シリコンシーリングを行う場合は指定のアルコール系コーキング材を使用してください。
・信越化学工業　シーラント72
・東芝シリコーン　トスシール380
・東レシリコーン　SE960

2連棟金具Aの取付け

①躯体枠アタッチ2（内観左）に連棟金具Aを固定します。
※躯体枠アタッチに金具取付け用の穴はあいていません。下図を参考に、V溝をガイドにしてφ4.5の穴をあけてください。
②躯体枠アタッチを取付けてください。
※躯体枠アタッチの取付けは「**クリアルーフ 取付け説明書2**」を参照してください。



■躯体枠アタッチ2（内観左）加工位置



3パネル部1（内観右）の取付け

①「**クリアルーフ 取付け説明書 3、4**」を参照して、吊り材固定金具、吊り材キャップおよび吊り材を取付けてください。
※下穴位置は、「**■納まり図**」を参考に決めてください。

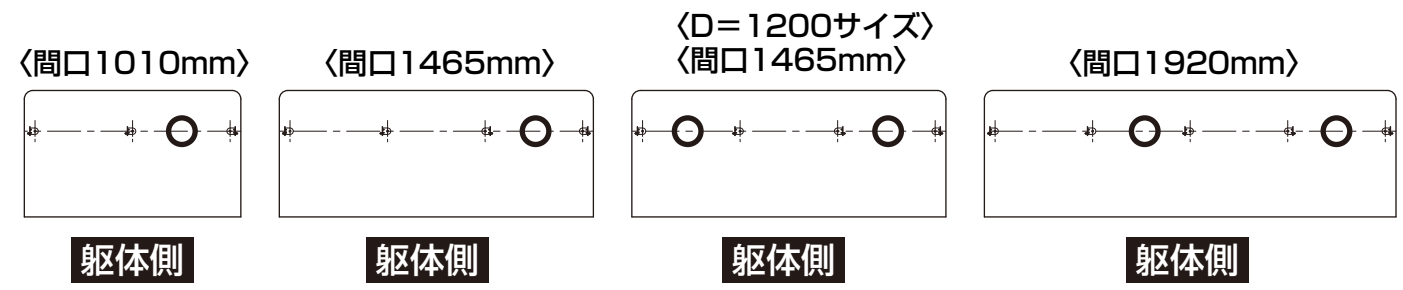
⚠注　意

●吊り材固定金具は必ず躯体の柱･間柱などの構造材に取付けてください。
●躯体が経年劣化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合せをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
●指定の個所に必ずシーリングしてください。
●外壁厚（通気胴縁含む）が30mmを超えるところには取付けできません。

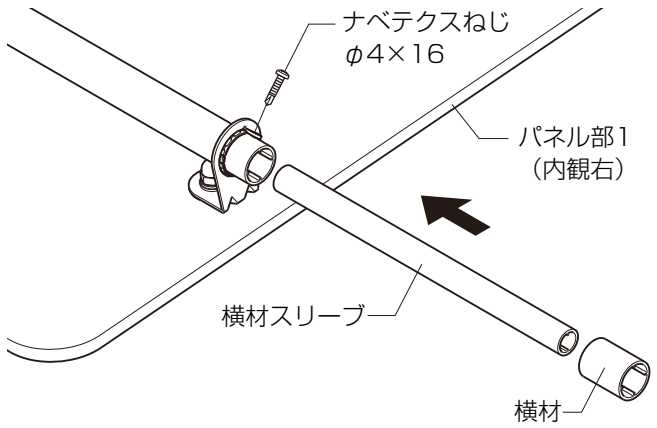
②「**クリアルーフ 取付け説明書 5、6**」を参照して、パネル部１（内観右）を組立てて取付けます。
※パネル吊り材固定金具の配置は下図を参照してください。
※W＝1465×D＝1200サイズのパネル吊り材固定金具の配置は、D＝600およびD＝900サイズと異なります。

■パネル吊り材固定金具 配置詳細図（パネル部1）

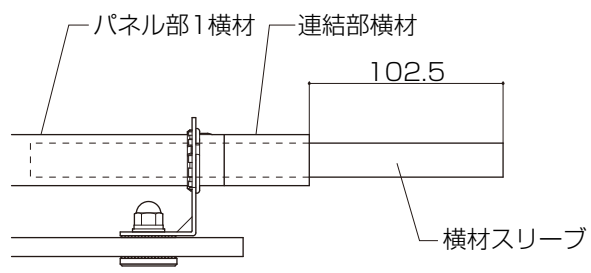
※図の○印区間にパネル吊り材固定金具を配置してください。



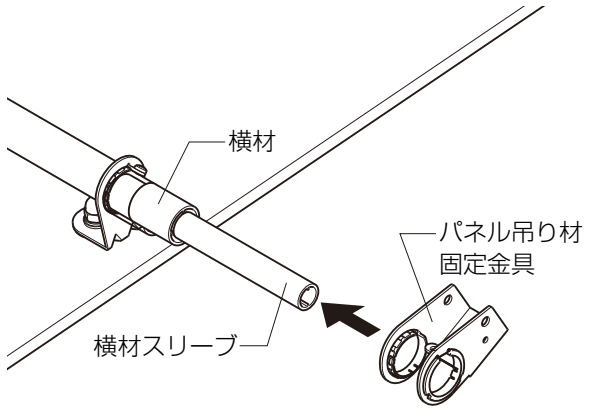
③横材スリーブ、横材をパネル部1（内観右）の連結側に差込み、ねじ止めして固定してください。
※横材スリーブ取付け前にパネル部1（内観右）の横材をねじ止めすると横材スリーブが入らなくなります。必ず横材スリーブ取付け後にパネル部1（内観右）の横材を固定してください。

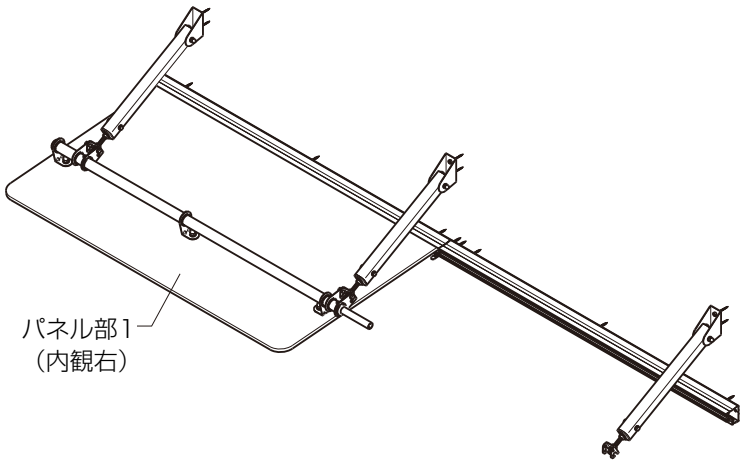


■横材スリーブ取付け位置

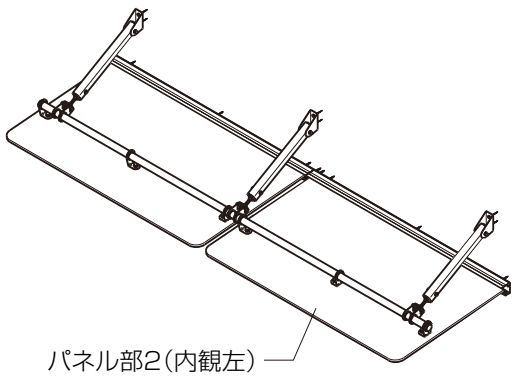


④連結側の横材にパネル吊り材固定金具を差込み、パネル部1（内観右）を取付けてください。
※D：1200×W：1465サイズの連棟部には吊り材は入りません。姿図を参照してください。
※取付けは「**クリアルーフ 取付け説明書6**」を参照してください。





4パネル部2（内観左）の取付け

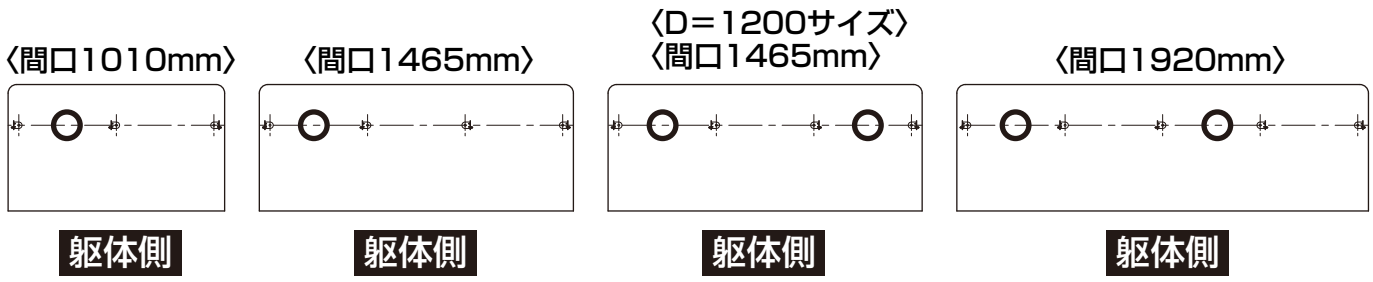


4パネル部2（内観左）の取付け

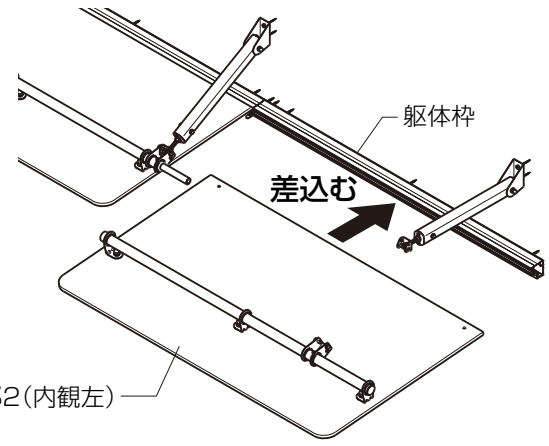
①「**クリアルーフ 取付け説明書5**」を参照して、パネル部2（内観 左）を組立ててください。
※パネル吊り材固定金具の配置は下図を参照してください。
※W＝1465×D＝1200サイズのパネル吊り材固定金具の配置は、D＝600およびD＝900サイズと異なります。

■パネル吊り材固定金具 配置詳細図（パネル部2）

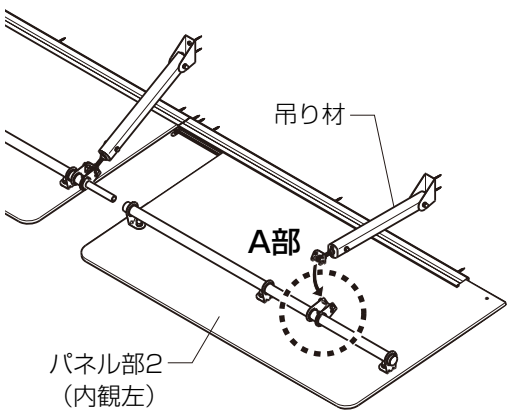
※図の○印区間にパネル吊り材固定金具を配置してください。



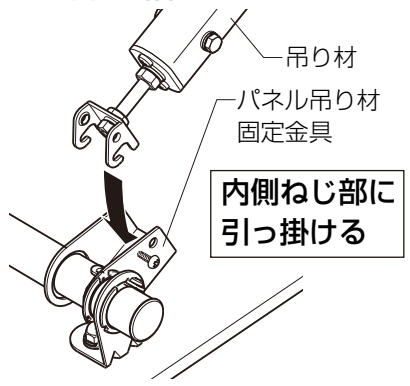
②パネル部2（内観 左）を躯体枠に差込んでください。



③吊り材先端部をパネル吊り材固定金具の内側ねじ部に引っ掛けてからボルトで固定してください。
固定は「**クリアルーフ 取付け説明書6**」を参照してください。

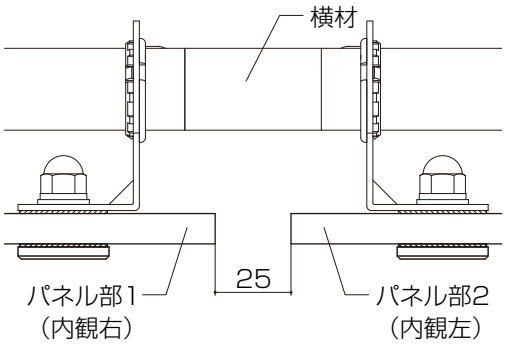


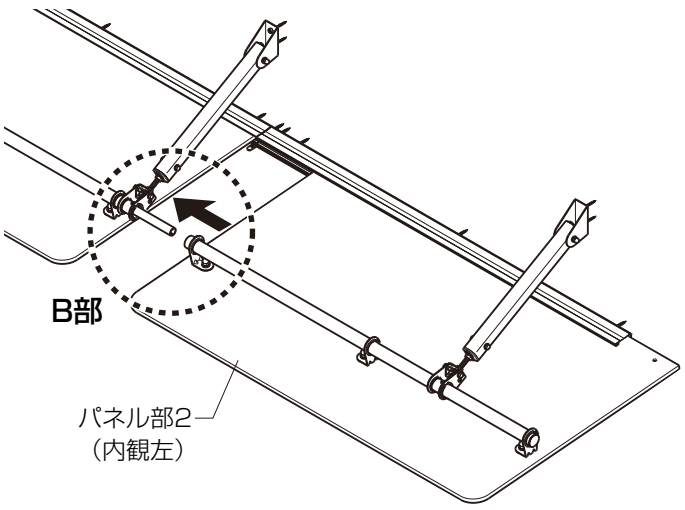
■A部詳細図



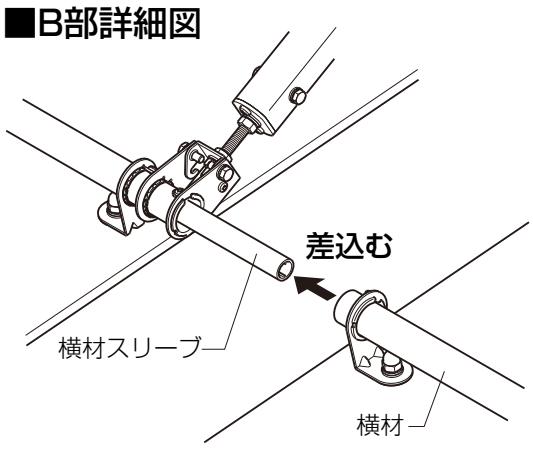
④詳細図を参考に、横材およびパネル位置を調整してから、ねじで固定してください。
※横材が密着するようにしっかりと差込んでください。
※取付けおよび固定は「**クリアルーフ 取付け説明書6**」を参照してください。

■パネル位置詳細図

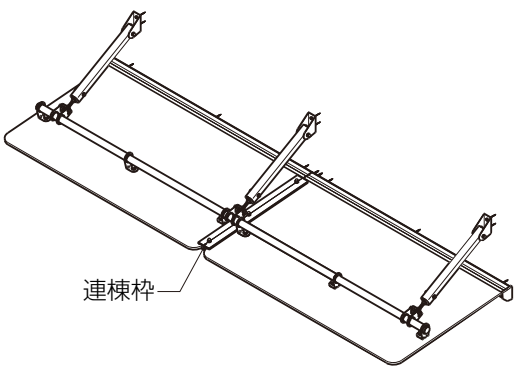




■B部詳細図



5連棟枠の取付け

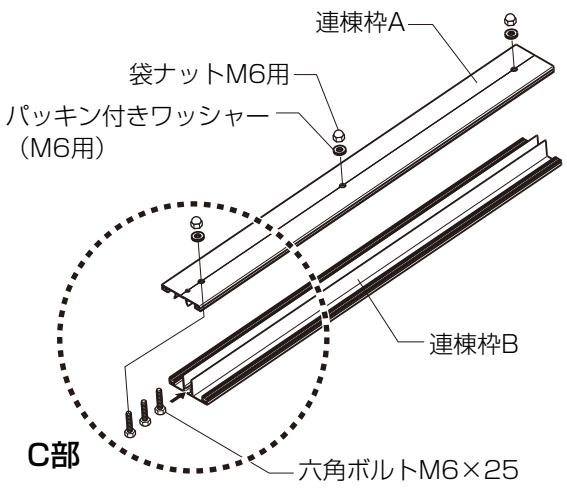


⚠ 注　意

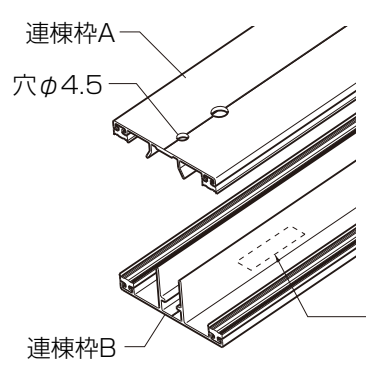
- 連棟枠を固定する六角ボルトM6×25は締付けトルク2.0～2.3N・mで固定してください。
- 固定後、パッキン付きワッシャーのパッキンがつぶれているか確認してください。

5連棟枠の取付け

①下図のように、六角ボルトM6×25を連棟枠Bのボルトホールに通して仮締めしてください。
※連棟枠には向きがありますので、詳細図を参考に組立ててください。
※パンチングタイプの場合、連棟枠Bのビードを外してから組立ててください。

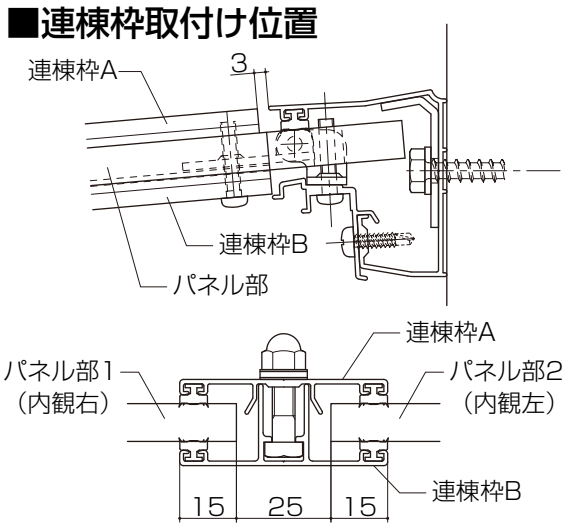


■C部詳細図

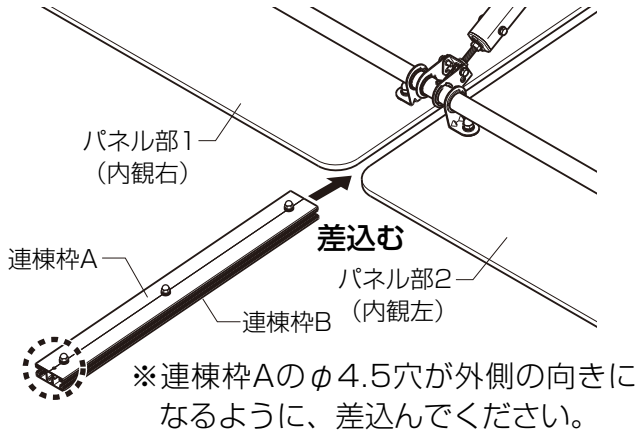


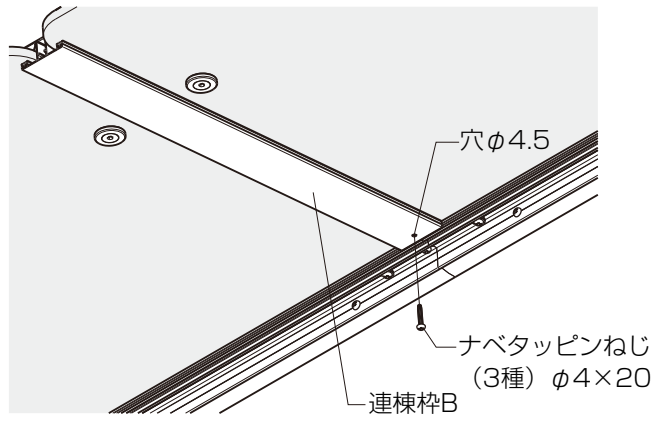
※連棟枠Aのφ4.5穴と連棟枠BのロットNo.が同じ向きになるように組立ててください。

■連棟枠取付け位置

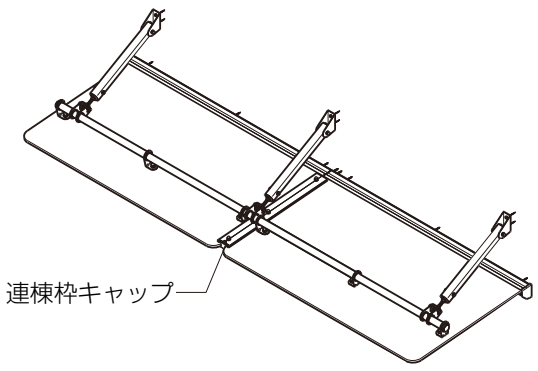


②組立てた連棟枠を下図のようにパネル連結部に差込み、固定してください。ナベタッピンねじ（3種）φ4×20で連棟枠Bのφ4.5穴および連棟金具Aのねじ穴に合わせてねじ止めしてください。
※連棟枠は左図を参照に差込んでください。
※パネルが連棟枠に挟みこまれていることを確認してから固定してください。



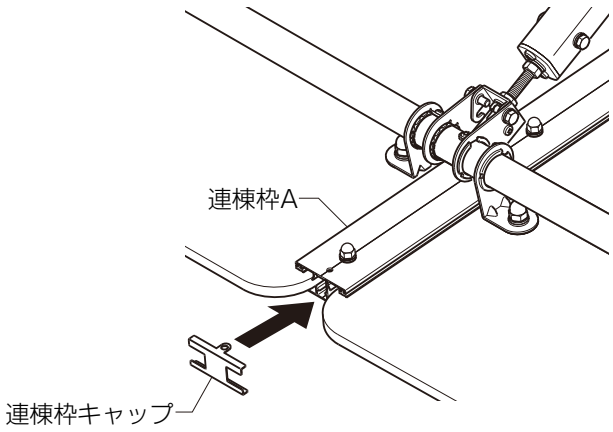


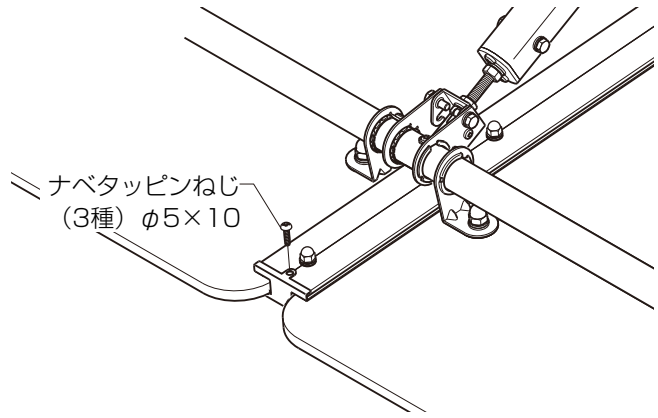
6 連棟枠キャップの取付け



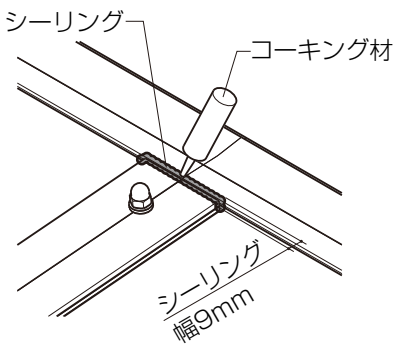
6 連棟枠キャップの取付け

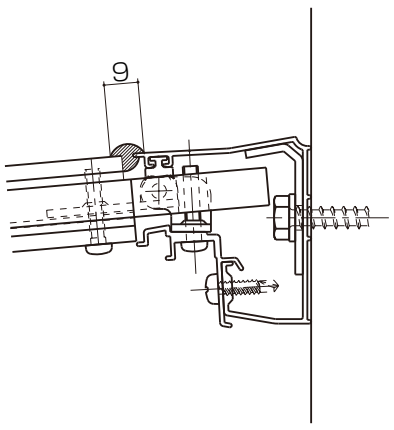
●下図のように連棟枠キャップを連棟枠に固定してください

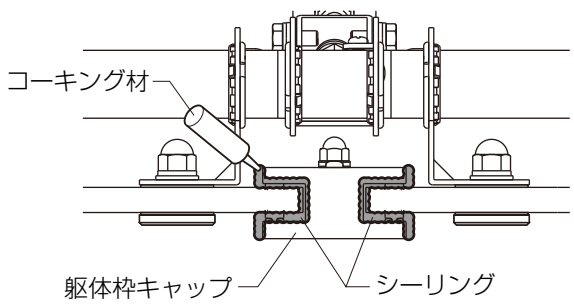




■シーリング位置







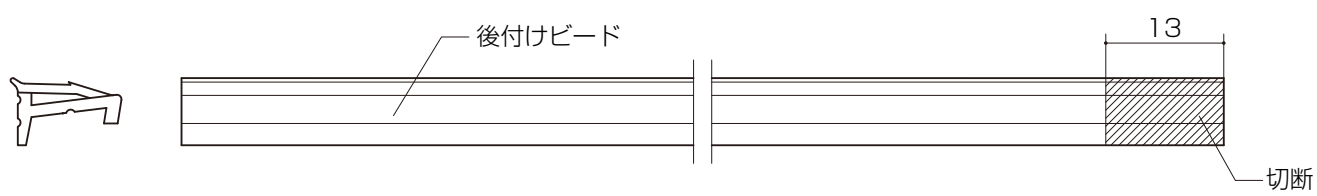
⚠ 注　意

●指定の個所に必ずシーリングをしてください。
●躯体枠および連棟枠接合部は幅9mm以上でシーリングしてください。雨漏れのおそれがあります。

7 後付けビードの加工

7 後付けビードの加工

●下図のように、後付けビードを加工してから取付けてください。



8 こう配の調整

8 こう配の調整

●本製品は屋根こう配5°の設定となっています。屋根こう配の角度を調整する場合は吊り材の長さを調整してください。
※こう配調整方法は「**クリアルーフ 取付け説明書**」を参照してください。

■3連棟の場合

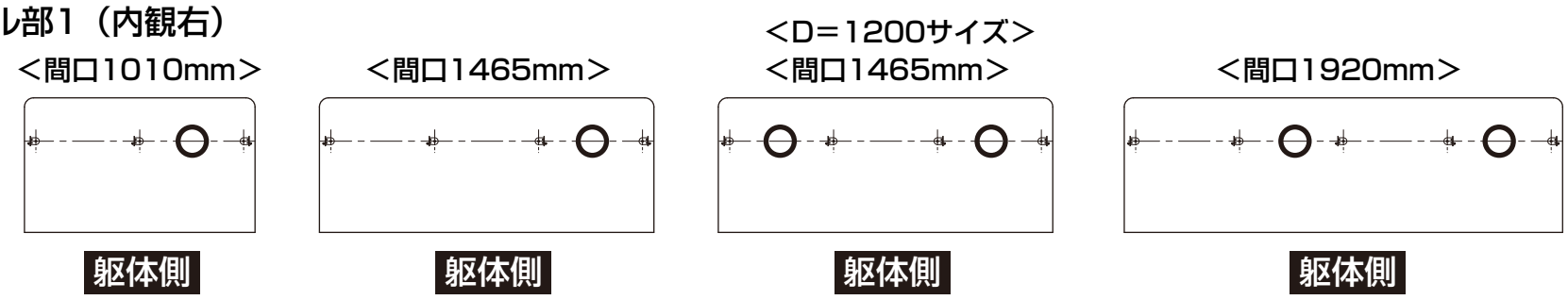
■パネル吊り材固定金具の配置

●配置詳細図を参照に、パネル吊り材固定金具を配置します。配置前および配置後の取付けは「**クリアルーフ 取付け説明書**」を参照してください。
※ W：1465×D：1200サイズのパネル吊り材固定金具の配置は、D：600およびD：900サイズと異なります。

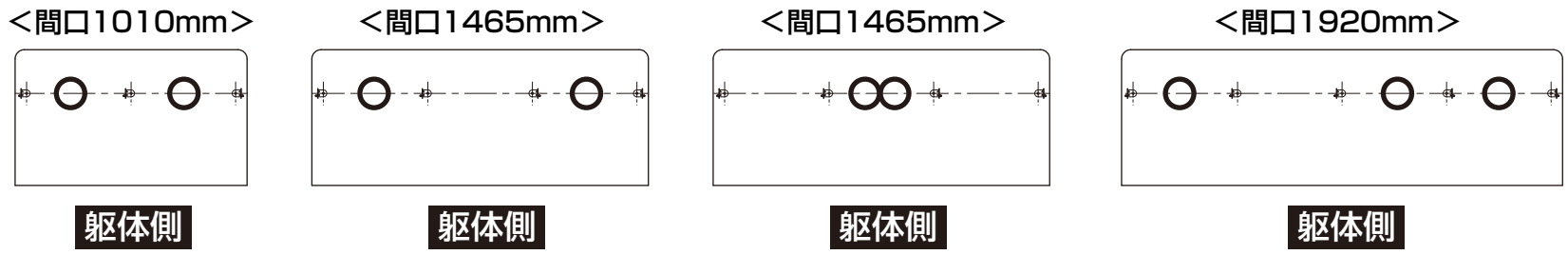
■パネル吊り材固定金具 配置詳細図

※図の○印区間にパネル吊り材固定金具を配置してください。

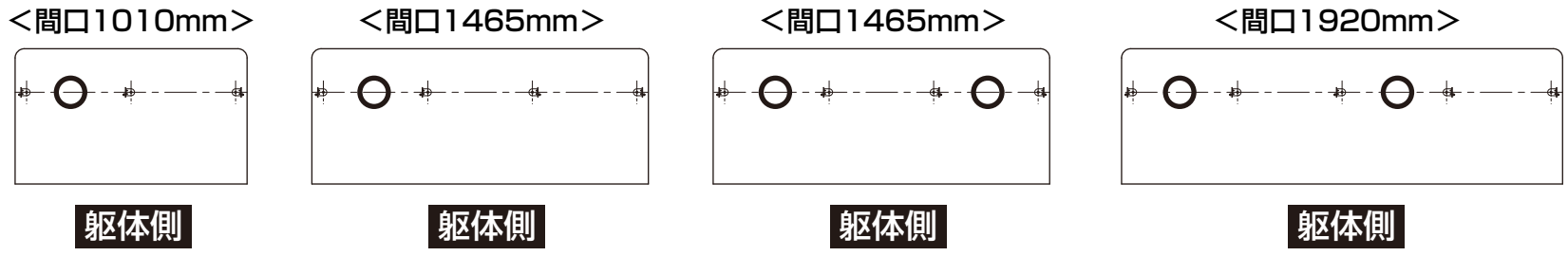
●パネル部1（内観右）



●パネル部2（中間）

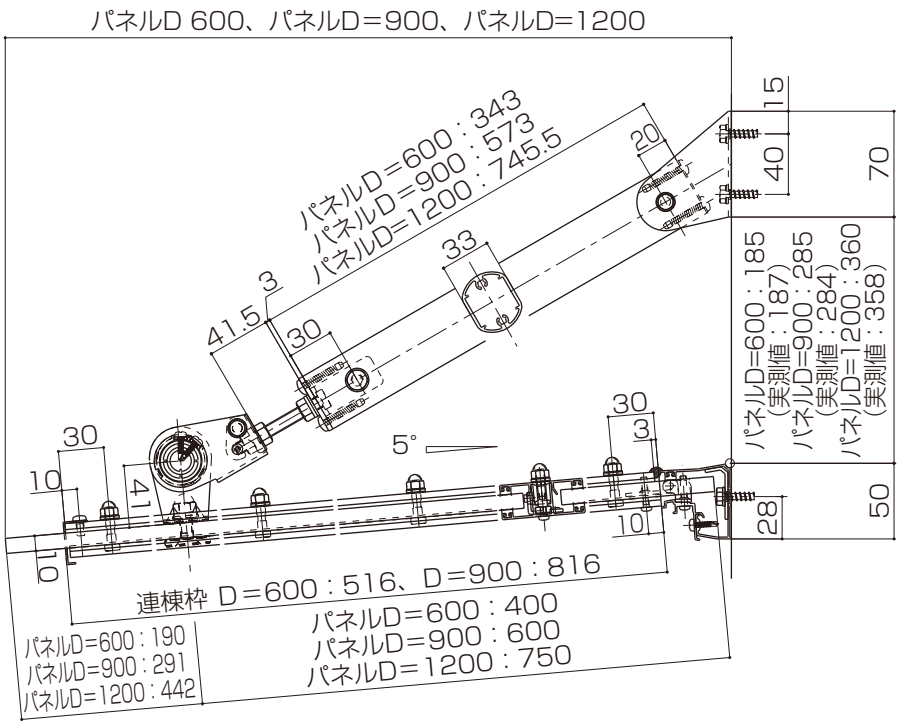


●パネル部3（内観左）

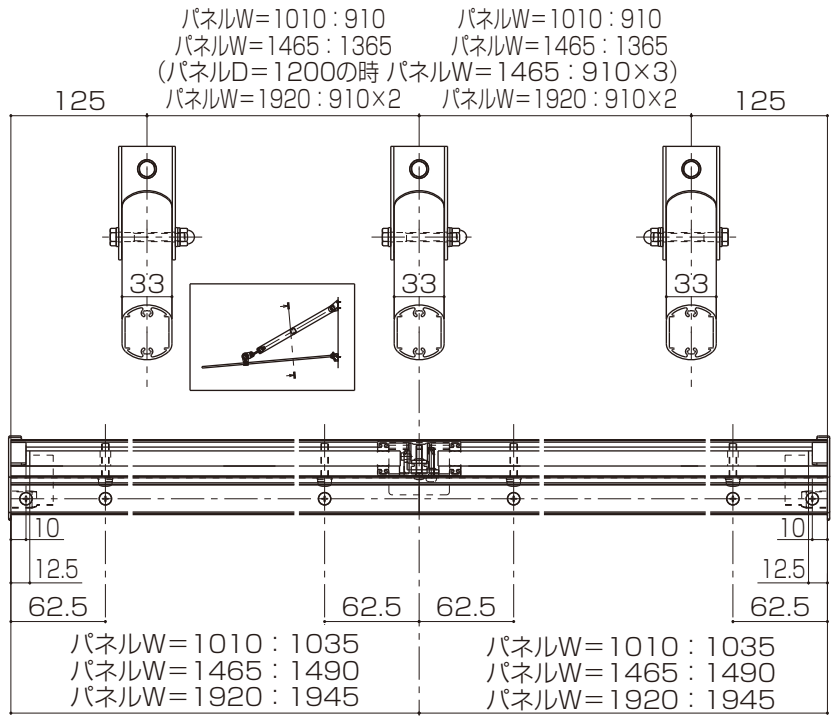


■納まり図

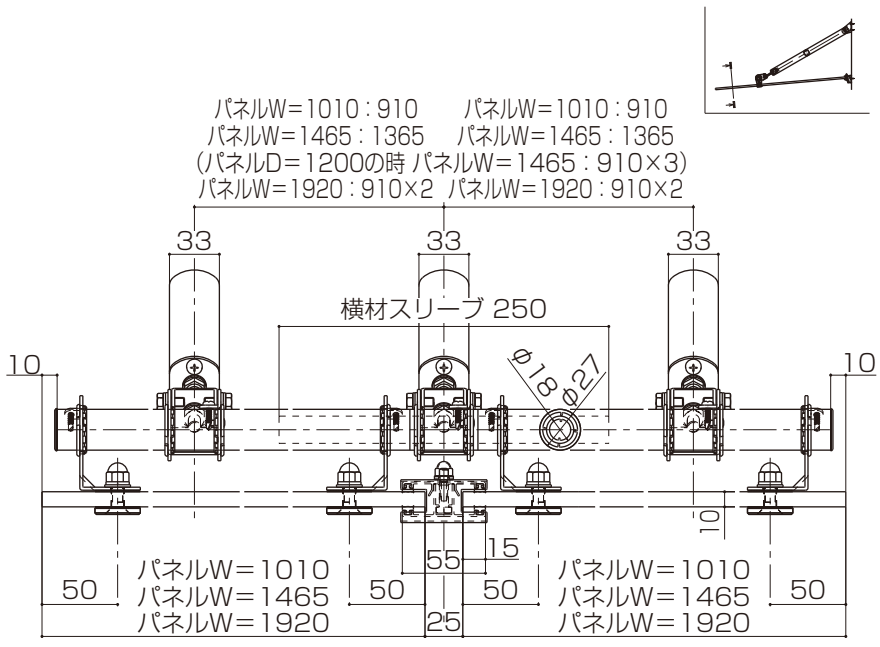
●縦断面図（連棟）



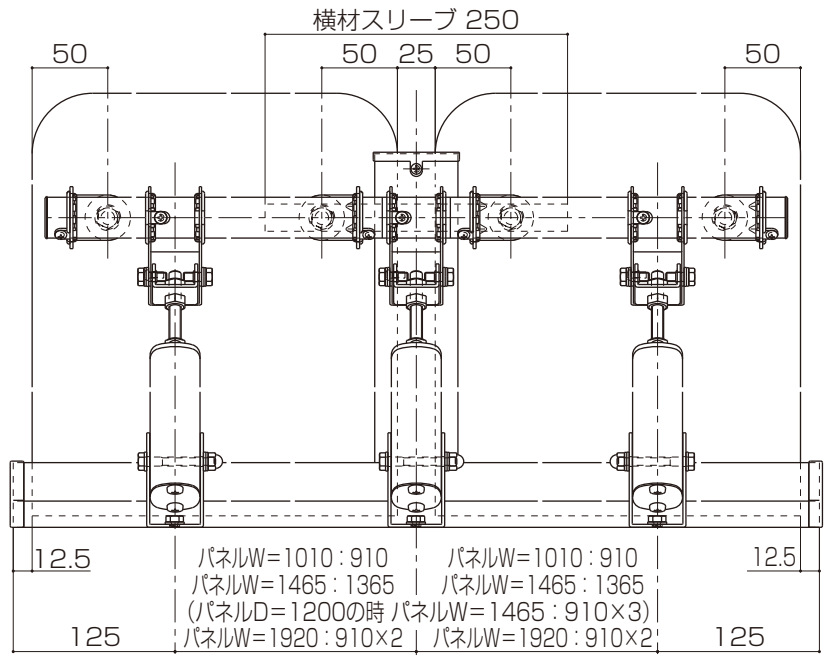
●横断面図（連棟・躯体側）



●横断面図（連棟・横材側）

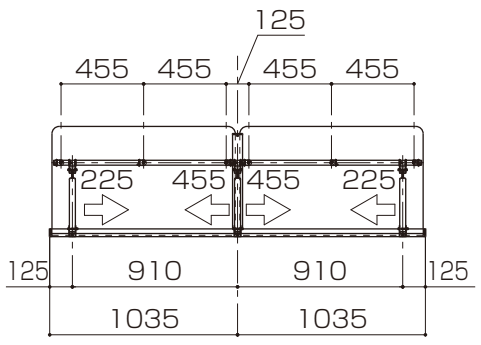


●伏せ図（連棟）

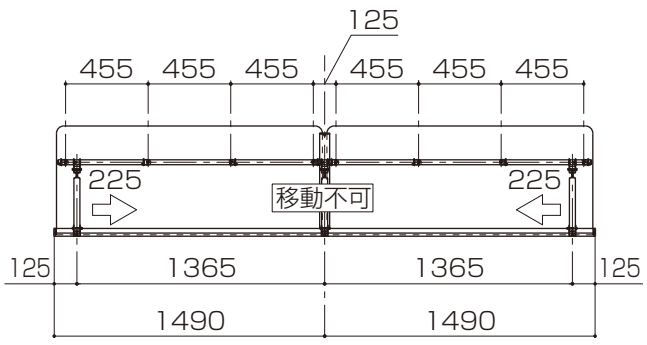


●姿図（2連棟）

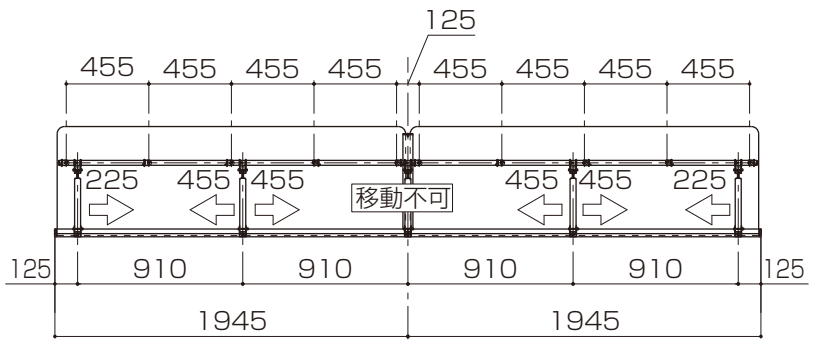
【D : 600、900×W : 1010 連棟】



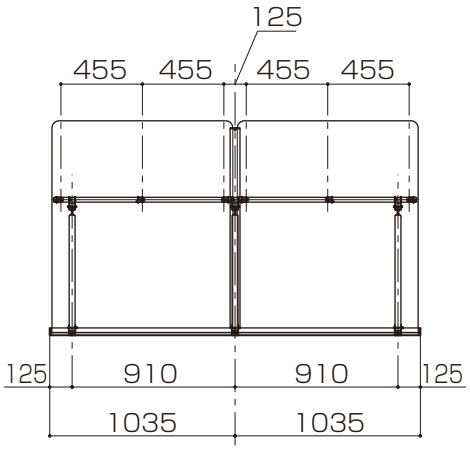
【D : 600、900×W : 1465 連棟】



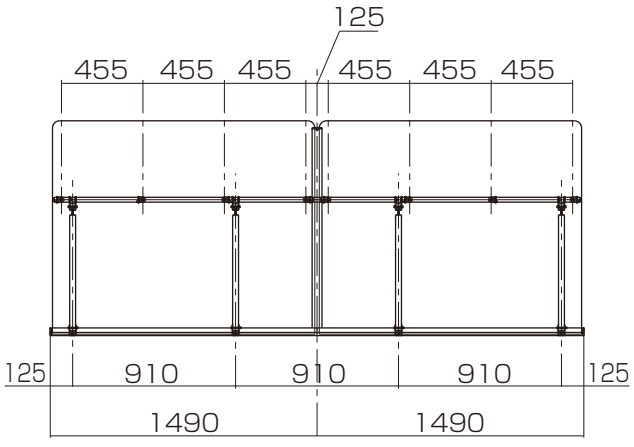
【D : 600、900×W : 1920 連棟】



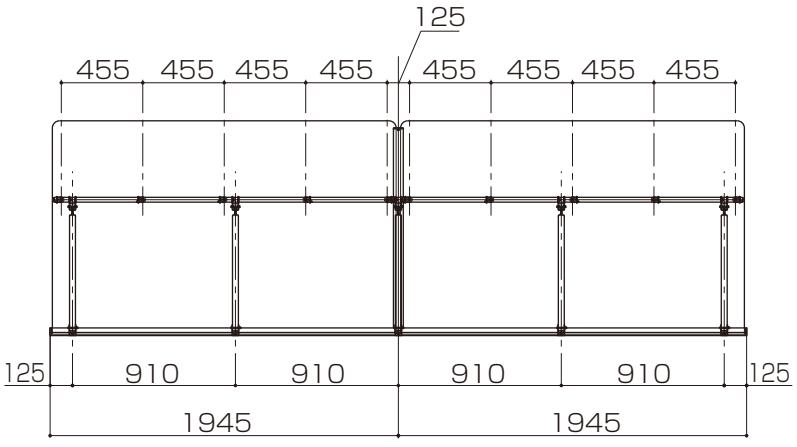
【D : 1200×W : 1010 連棟】



【D : 1200×W : 1465 連棟】



【D : 1200×W : 1920 連棟】



※D=1200とき
吊り材ピッチは910mm以下、端部吊り材は、両端のパネル横材固定金具から 200mm以内 であれば吊り材の移動は可能です。